

第4回ワークショップでのグループワーク意見

実現性

代替案の実現性を検証しないのか？それを参加者が知る機会が少ないのでは？説明がほしい。

最低限必要なものを出して実現に向けて（時間・経済）動くべき。
（避難時等の）

『労働が大変』 ≠ 『方法』ではないと思う。

（5）様々な制約条件のように言われている事項を市民/WS参加者が共有した上でそれを乗り越える対策をWSで考えていくべきではないか。

◎何が問題か

◎方法があるか？
or
無理なのか？

◎どういう運動を起こせば実現するのか？

○イメージ共有

- 議題として共有すべきイメージがない。
- 『漁港』というキーワードで話してもすれ違いが起きていないのか？
- 一般の人が近寄れるイメージが『漁港』から浮かばない。

○何が必要か

『観光』『流通』『地産』等で漁港の必要性が逆に見えにくくなっている。

他漁港の併用

- 近い港に移籍すると・・・
- ・レジャーの人との折り合い
- ・スペースは足りるのか？
- ・常

漁

「揚げる場所」+「揚げ方」を早急に決めたい。

一般 + 漁業

掘り込み

「漁港」という名目で造れるものが限られるのなら違う名目で造ればいい。

○都市計画の指定を変えると代替地が必要。

（外すには相当の理由がいる）

和賀江島について

○元来、形が不明な中で変形するのは法的に無理
→史跡保存では元の形に戻すことしかできない。

和賀江島/漁港復活ならOK

↳ 指定史跡/世界遺産
逗子マリーナ

漁業者の方の「漁港」が必要な理由

波消ブロックがないと砂がもっていかれる。
→景観・観光・レジャーばかりをいってられない。

避難の帰りは車や電車

(4) 漁協/漁場/漁港の統廃合を進めて施設の有効活用しては？
↑他地域の現状、鎌倉は不要と考えている。

統廃合が必要と考えている漁師もいるが、漁場・獲物の違いなどで、考えが一方向にむかない。
（小坪、腰越と協業して発展してはどうか？

- ・昨日はシケで船のバランスが崩れた。
- ・マリーナに逃げた（和賀江の3隻）
- ・逗子マリーナは有料

(4) 先日の台風でも砂浜が削られた
この繰り返しが大変困る

↑
それに対し砂を入れたり修復したり（そもそも養浜対策が必要？
砂の供給源、川から手を付ける？）

- (4) 既設漁港に入れない訳
↳ 台風には耐えられない。
- マリーナに入れない訳
↳ レジャー用に作られている。
舟の上げ下げに不向き

『漁港』建設反対？

海は埋めてほしくない。

施設を作るとそれを護るために消波ブロック等の付加施設が増える。

世界遺産登録と市民・生活がバッティングしている？

(5) 今後、海に構造物を造ったとしても、更に構造物が必要になる事になり、手を付けない方が良い。（腰越を見ても明らかな事実）

(4) 安全な作業、産業の発展のために、行政/市民に頼るだけでよいのだろうか？
漁業界の横のつながりで解決している事例も見たいし、この課題についてもそれで乗り越えられないだろうか？

(4) 漁業の現場からみた漁港建設の必要性

○漁業の現状継続の問題点について

広い浜に漁業者が分散している為、消費する方々が買いに行きづらい。

市民の
★認知度
理解度) 低い

市民に鎌倉の漁場の「産物」を供給不定の状態となる。
地産地消が全うできない。

漁業の実情
・危険性
・地域への貢献など

漁業を継続するだけでは市民の理解は得られない

漁業の発展は鎌倉に必要
=「漁港が必要」だけが答えなのか？

砂が減っているというより水位が上がっているような気がする。
また、波の中からの出船・入船は危ない。

○問題の克服方法の選択肢の検討

漁業と市民を結ぶ
仕組み・人が必要

朝市・さかな祭り
漁協HP
(鎌倉フィッシャーマン通信)

漁業者が1か所に集まれる港があれば消費者側にとっても買いやすい。

いろんな立場の人の協働が必要

市民・行政・NPO・漁師さん
サーフィンする人…

鎌倉漁港としての産業振興の起点となるハード・ソフトウェアの準備が必要
(注：漁対協H. 23. 3. 25)
その資料の検討が必須

漁業とマリンレジャーの共存は必要
(鎌倉ならではの文化)

港でない
他の選択肢は？
(考えたい)

話し合いの場、
仕組みの継続

何もはじめていない今でも砂浜は減っている。

必要な所に砂が溜まるように港を造れば？

海浜変形調査等を実施する。

○漁港建設の要望は漁業者の総意か

温度差はあると思うが総意です。

若い、新しい漁業者に自分と同じ目に会わせたくない。

漁業者の数十年来の悲願であり、既に鎌倉市の改訂プランには入っていたものであり、H22年に市長により外された。

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい。

○環境への影響（アセスメント）

生態系への影響がはっきりとは見えていない。

環境への影響（砂浜・テトラ）は数十年スパンのことを考えるべき。
（次世代の市民に対する義務）

そもそも海浜の変化が明確になっていない。

とにかくそんな海の中が大きく変わるような規模のものは望んでいません。一番困るのは漁業者です。

海域地形の変化による津波等災害への影響

湘南関係の平塚、赤碓等で行われているので参考にしたい。

海と安全(災害)よりの関心と方向の移行？

○沿岸の市民生活への影響

お互いによかったと思えるようなものにしたい。

漁業に興味を持つ若者たち（女性も含め）がより漁業者になりやすくなる。

漁業を活用した地域市民ネットワークの構築

地域の子供たちへの職業教育の体系化。
施設ができることによってこうした取り組みが容易に。

漁師になりたいと思う人が増えると思う。

○海岸利用への影響

現状でも坂ノ下の砂浜が減少している。

砂浜減少による海水浴場開設への危惧

海への無関心さ

利用者（観光など）をファンやサポーターにしていく必要。

漁対協のワークのレビューが必要

○海岸景観への影響

坂ノ下の沖は波が高く維持ができるのか。

コンクリート構造物を増やしたくない。

港のある風景は悪いものではないと思う。
調和、センスのある港

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて

○産業振興の **起点** = 地産地商（消でない） → 発展・活性化



漁港以外の選択肢も考える



協議を続ける

○観光への発展／海への関心・サポート



○子供・若者への教育、情報発信
(出前講座)

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい。

○環境への影響（アセスメント）

市の調査はよいが、
信ぴょう性はあるのか。
情報の信ぴょう性、正しい
かどうか



不十分じゃないだ
ろうか？
環境アセスメントを納
得する形での提示

例えば波浪注意時等
全天候でのモニタリ
ング調査はやってるの？



デメリットを作っ
てしまふかもしれない
危険性

船を陸に揚げる手法によりデ
メリット克服か

砂を持っていかれるとい
う循環を止めるための対
策をしてほしい。

環境負荷をいかに低減す
るかが重要！

浜が縮小している
(砂が持っていかれる)
施設増設により環境負荷

漁業者による実
践的なアセスマ
ントが必要

○沿岸の市民生活への影響

外観だけでなく、
そこ（海）でどういう人が何を
できるか（機能）ということが
重要！

○海岸利用への影響



例えば静岡県の
由比漁港
のように

行政主導の方向性が経済
一辺倒
↳ 一次産業を
疎かにした

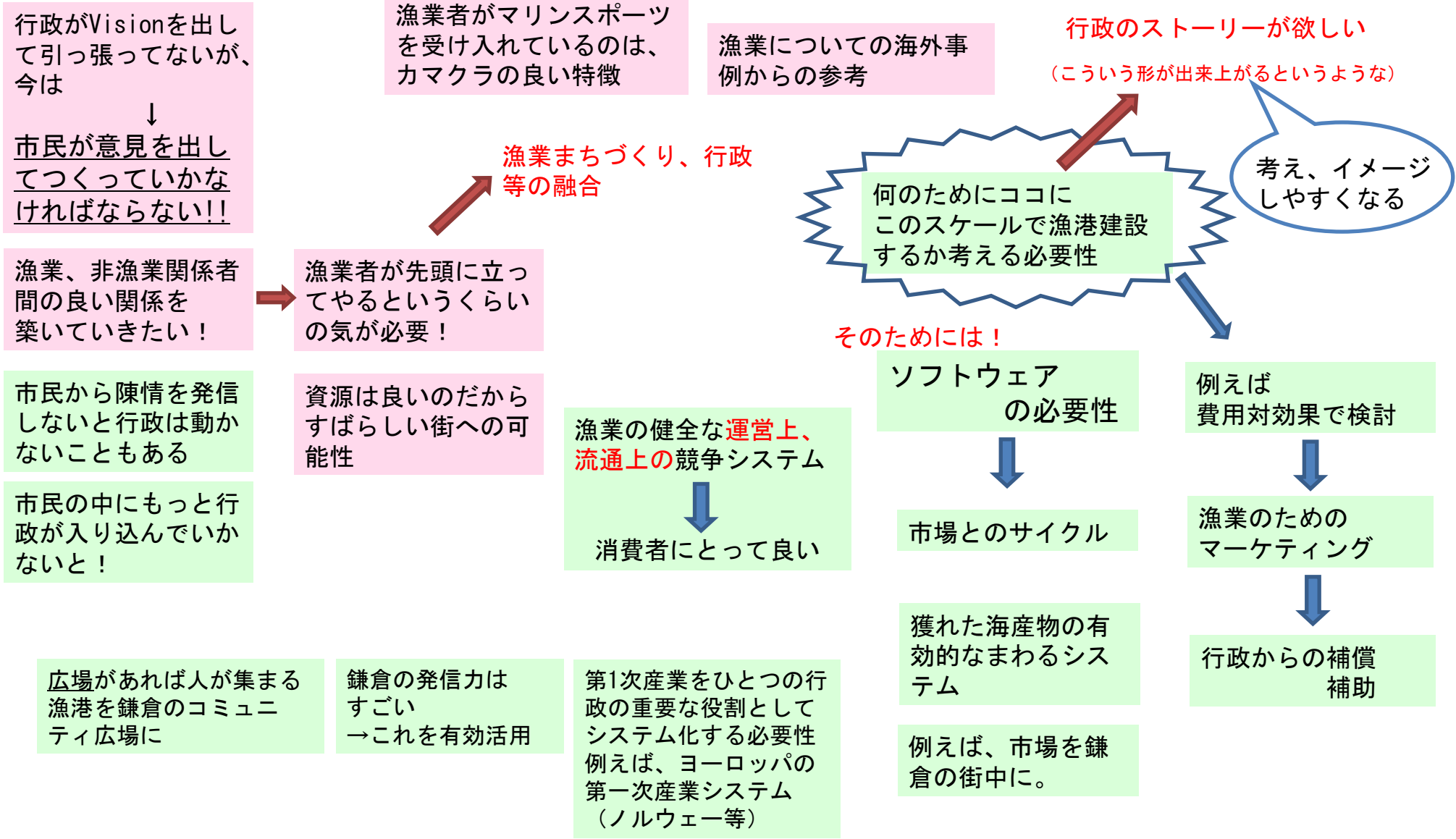
鎌倉は「新しいもの」を
受容する土壌がある。
それがカマクラの文化で
ある。



マリンスポーツ等を尊重
しなければならない！

○海岸景観への影響

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて



○環境への影響（アセスメントは実施したのか、するのか）

埋め立てより掘り込みとか

潮の流れが変わる

建設技術でカバーしつつ、環境影響押さえて、文化的な

○鎌倉の市民生活への影響（眺望・・・）

マンション前とかでは問題（眺望）

理由
理由原因

現状

デメリット

汚いものが集まってしまふのでとる

反論

港だけ造るのでは意味ないが

提案

市民の立場から運営基準を考えればよいのでは

1. 漁港建設のメリット

浜小屋の汚らしさの集約ができる→きれいになる

カマクラの食文化地産地消ができれば

食文化を守りうる

歴史的なもの

台風時の安全性向上

反論

地元の消費のためにお金をかけて港を造るといのは…

提案

市場的なもの

具体的に市民の生活を考えると

市の中心？

漁港の隣り ← 新鮮

○海岸利用への影響

他の論点

カマクラは羨ましがられる
碇に挟まれた港[湾？海？]

和賀江島の案について

ワカメ干しが残る

漁師が増えてよいのか？

今は若い人少ないし問題ないと思う

我々が考えなくてはならないシステム全体の意見を発信すべき

沿岸の漁業を保護する観点から地元漁業必要

提案

立派な小屋を造るのはどうか

時間がかかるなら浜小屋を直すほうが

台風時、船の出し入れなど解決できない

反論

腕次第ではないかと考える

反論

魚が減っている

攻める楽しさを教えたい

2. すぐ漁港が出来るのか

反論

浜が狭くなっているのできびしい

すぐ出来るのではないかと考える

3. これからの漁業のビジョン

漁業変わるチャンス

ビジョンを示してほしい

結びつくストーリーがわからない

つながるのでは

反論



○浜小屋が景観上問題ある

どうにかしてほしいが
浜小屋撤去 ⇒ 港にはならない

○地産地消と漁港が繋がるか？

- そもそも地産地消必要か
- 結びつくストーリーが？
- 漁港にレストラン直売所とかで…

○地元の漁業資源の保護…？

(4) 漁業の現場からみた漁港施設の必要性について

○漁業の現状継続の問題について

漁船など物置きの不十分性

台風などの時、浜に置いてある漁船などを避難させる場所がない

漁協の常設市場がない

↓
市場で地元の産物が買えることで、市場に対して漁業の大切さが分かってもらえるきっかけになる

新規漁業者増加

将来の発展のためにも今、この問題を解決させることは必要

○問題点の克服方法の選択肢の検討

漁港(コンクリート構造)ではない形のもので危険回避や利便性の向上がはかれたら良い

直営店を設置して市民と漁業のつながりを形成

構造

漁港というものではなくて新しい施設で問題解決を！

場所

史跡だからと言って利用できないのはおかしい
↑
利用することが文化的で良い

新設位置についての議論

和賀江島について検討すべき

台風などの時の物置場を市民間で話し合っ
て決める

避難場所の決定

安全性

避難についての検討の必要性

○漁港建設の要望は漁業者の総意か

漁業関係者の
総意

漁港でなくても解決策はあると思う

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

○環境への影響 (アセスメントは実施したのかするの?)

20年~30年という長期間
もの視点で環境アセスメント
をする必要がある

造って見ないと
実際には分からない
↓
[・砂浜の減少
・潮の流れの変化

影響の可能性が
高いため、今あるものを
利用して問題解決したい

漁港を造ったことで環境
が変化した場合、その対策
としてまた新しいものを造る
ということが起こる可能性が
あるため

造って環境が悪化
してしまったら
取り返しがつかない

環境が悪化したら
鎌倉としての魅力の
低下につながる

環境が悪化すると
マリナーとして利用
できなくなってしまう

人口減少してしまう
可能性もある

この4つの影響を
考慮するためには…

○沿岸の市民生活への影響 (眺望への影響、周期の問題など)

図面通り造ったらマンション
付近に影響あるが、
現在の段階で問う問題
ではない

① 現在のポンプ場に
掘り込み式を建設
したら?

- ・ お金の問題
- ・ 海水の循環
- ・ 波の問題

② 和賀江島を昔の状
態に戻したら?

○海岸景観への影響

目の前に漁港があるのは眺
望的に良くないが…
だからと言って造らない方
が良いということではない

場所や形状について
検討が必要

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

○環境への影響

地形が変わる？
→変わらないかも
→逆に止まるかも
→調査不足

これまでのアセスメント結果では不十分
→イメージばかり
信ぴょう性がない

長期間の調査
なくして漁港建設
はおかしい

ストーリー

漁港建設予定地は
なぜ坂ノ下なのか

漁業者

漁業者にとっては
漁場の減少

漁業者はある程度の犠牲を理解して、建設位置を検討している

坂ノ下は防災
対策が必要

○沿岸の市民生活

への影響

港による騒音振動の問題

※水産（魚屋）は港ができてしまったら死活問題になる

港なくして漁業は厳しい拠点としての場がほしい

漁対協の資料は意味あるのか信ぴょう性がない

普段は県の管理になってしまっている

場所

○海岸利用への影響

非常時の問題を解決するように議論すべき

非常時などの住民との協力が必要

港建設した後、海が時化した場合、船は大丈夫なのか？
→上げるしかない

⇒ 非日常を重点的に考える必要

中途半端な漁港は市民にも漁港にも不利になる

港のない現在は、船を避難する場合、マリーナや腰越に移動
→費用がかかる

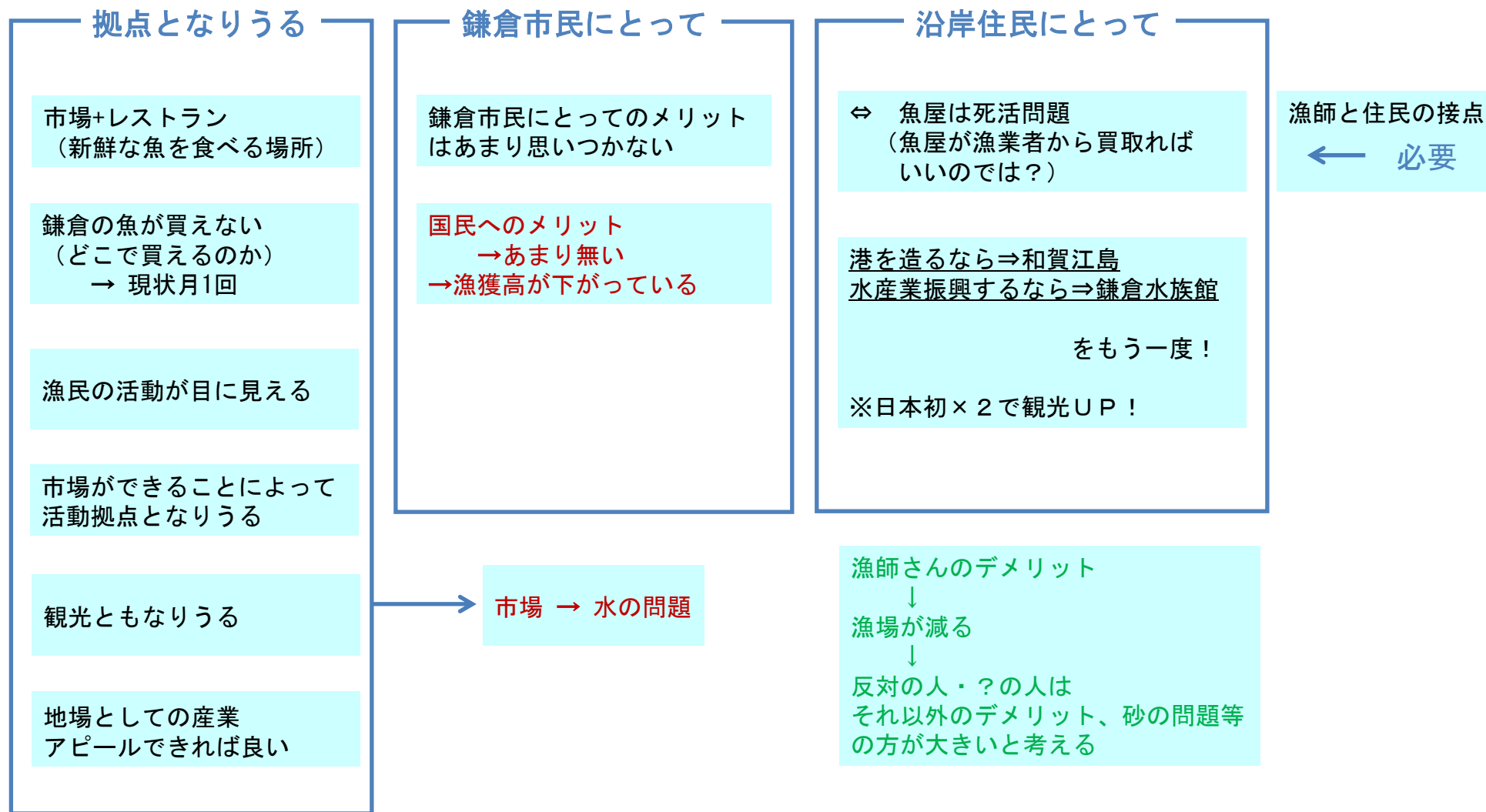
○海岸景観への影響

テトラポットによってつくられる景観が心配で

さらなる防護が必要となるのでは？

漁港があってもなくてもいずれ砂は無くなる

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて



(4) 漁業の現場からみた漁港施設の必要性について

○漁業の現状継続の問題について

港があれば
・船を出せる
・安全

現案の計画だと
波よけが必要に
なるのでは？

海に逃げる場所が
ない

漁業者のための
港が必要！
釣船は漁業者
ではない

シケの時に船が
どうなっているの
か見て欲しい

シケの前に退避
できる場所
が必要

魚によって網の
種類が違う

坂ノ下は波が高い
和賀江島の方が良
いのでは？

腰越では場所が狭い

○漁港建設の要望は漁業者の総意か

漁業者の方が何に
困っているのか知
りたい

場所については
総意？

願

港ができたならば
→仕事増（漁業の方）
波が高いと出れない

場所は特定
しないが
漁港は必要

漁
要望として
お願いしている

港がほしくても言えずに
いる
公に出来ずにいる

現在57隻
漁具の高コスト

永年の悲願
である

○問題点の克服方法の選択肢の検討

和賀江島案

場所が悪い反対
I、II、III……

和賀江
調査し新工法で

ムリ！？

史跡とともに
←文化財保護の点から
無理だとされる

和賀江島の再調査

和賀江島の方
文化庁がダメ
保護のため

場所が違えば可能
性あり

和賀江島の漁港は無理
(車の乗り入れが出来
ないのではないか)

やっぱり和賀江
島がいいんじや
ないかな

玉石を市民に買っ
てもらいスポン
サーに新和賀江

遺産より安全だ

逗子マリーナ案 逗子マリーナ拡張

逗子マリーナがいいんじゃない
かな

- ・逗子マリーナはどうか？
- ・逗子市と調整できないか？
- ・元々ヨットハーバーがあるので拡張して共有できないか

行政枠を越え（逗子市）
逗子マリーナ共有できれば

小坪の拡張という案も検討してほしい
漁港機能は集積が望ましい
県境を越えなければ漁協自体だって
合併できるのだから

工法・つくり方について

港
防波堤の造り方にもよる!?
ex. 新羽田空港の例
杭の打ち方

羽田空港の新しい滑走路の
様に杭の上に港施設を！
・環境影響 少
・津波に強い
・短期工法で安価

水陸両用車
沖にフローと港
西岸にクレーン

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

○環境への影響 (アセスメントは実施したのか？ するのか？)

環境への影響は使ったらどうなるのか

具体のイメージが見えないままに進めることが問題

現在の候補地は海藻の森 ← 影響は？

現在の候補地は波が高い ← 危険では
なく作り直し

答申時に必ず詳細のアセスメント結果を提示すべき (より具体的・定量的データで)

環境アセスメント現状調査はやっているが建設時後のアセスメントはできていない。という認識

砂浜、波、風への影響をアセスメントしてほしい (港の建設による)

シミュレーションも必要
ex. 潮の流れ

漁港が出来ることによる生態系への影響は？
逆に魚が獲れなくなることはないのか？

テトラ建設の繰り返し → 浜が無くなってしま
うのでは (未来予測が)

砂浜が無くなる!!

○海岸利用への影響

坂ノ下にできるとマリンスポーツが全滅する

坂ノ下の波は良い!!
今のまま活かしてほしい

夏場のマリンスポーツ、ウィンド、ジェット保留

坂ノ下の浜辺は守れないか？

○沿岸の市民生活への影響

(眺望への影響・周期の問題など)

世界遺産を目指している鎌倉

↓
景観マイナス

だが漁業関係者の立場も分かる

有意義な意見の中、新しいものが出た (逗子マリーナの隣り)

是非、逗子マリーナ周辺を活用すべき
逗子マリーナで朝市!!

○海岸景観への影響

規模は？

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて

●防災

漁港、以前に
震災対策をすべきでしょ
費用

やるとしたら、
合理的な場所を
再度検討してほしい
・漁業の面 ・防災の面

●観光

鎌倉の観光につながる
(地産地消)

出漁日数が増える
↓
漁獲量 増

●食文化

地産地消ができる
→港ができて、付帯設備ができる
(水槽、製氷など)

↓
地元のもものが食べられる

漁港の食堂！

ボラの刺身が
食べられる

港があれば
鎌倉の魚が食
べられる

●水防

水防の意味でも東側に
建設候補地より軟弱

水位が上がっているとい
う現況

●専有化、 ルール化

つり船がうるさい

●つり

●子供が 遊べる施設

長いスパンで
考えるべき